

平成29年度事業計画

昨年度は、北陸新幹線の経済効果が引き続き持続され、ともすれば停滞しがちな日本経済の中であって、ひととき北陸地方の経済の活況が注目された一年でありました。開業3年目となる本年度も多くのコンベンションが予定されているところであり、さらには、2020年の東京オリンピックも視野に入れ、引き続き来街の方々に「おもてなし」の心で接する地域環境の醸成に尽力していかなければなりません。

また、10月19日（木）20日（金）に開催が予定されている第39回全国公民館研究集会、第54回東海北陸公民館大会（石川大会）には、私たち公民館関係者が一致団結して取り組んで参らねばなりません。

さらに、郷土が生んだ八田與一技師の台南市での墓前祭が今年75回目を迎えることから、公民館連合会としても結成以来初めてとなる館長海外研修として、墓前祭に参加し、先人の偉大な功績を偲ぶとともに台湾の文化にも触れ、今後の公民館活動の活性化に資して参ります。

さて先般、金沢市は、「地域コミュニティ活性化推進条例」を策定され、絆と温もりのある地域社会の形成に全力で取り組むこととされました。金沢の公民館は地域の最も近いところにある社会教育施設として、今後ますますその役割が重要になって行くことと考えており、地域の課題解決の具体的な施策の遂行者としての役割も担って行くとともに、地域創生・創造に向けた人づくり、町づくりに努めて行かなければなりません。

そのため、すべての公民館関係者が相携えて下記のことに取り組んで行くことを誓い合うものであります。

記

1. 地区公民館相互の連携強化を図る。
2. （新）館長海外研修として、郷土が生んだ八田技師の75回目の墓前祭参列のため、台南市を訪問する。
3. （新）第39回全国公民館研究集会・第54回東海北陸公民館大会を成功させる。
4. （継）市公連ホームページ充実と機関誌の発行を検討する。
5. 安全・安心のまちづくりの観点からも、常に防災意識を持つ。
6. 各種団体との連携を深める。特に秋のツーデーウォークや第3回金沢マラソンの成功に向けて協力を図る。
7. 地域コミュニティの活性化を中心に、役職員等の研修の充実と資質の向上を図る。
8. 都市間交流の推進に努める。

平成29年度 月別事業計画について

月	日	事業名
4	12	会計監査
	19	第1回理事会
	24	(市)館長会議、市公連総会
	28	石川縣市町公民館事務担当者会議(地場産センター)
5	6~9	館長海外研修(台湾・台南市)
	15	市公連事務所移転(玉川こども図書館へ)
	18	県公連定例理事会・総会(県青少年研修センター)
	中旬	新任館長研修
6		
7	2	視聴覚広報委員会・文化部協議会合同研修会(岐阜・大垣)
	上旬	公職連との懇談会
	下旬	町会連合会、校下婦人会との懇談会
8		
9		
10	19, 20	第39回全国公民館研究集会・第54回東海北陸公民館大会 (金沢市・歌劇座および市内)
	29	(第3回金沢マラソン)
11	中旬	館長、主事合同研修会
30年 1	中旬	(市)新年館長懇談会
2	上旬	第14回高岡市公民館フェスタ
	8	県公連市町公民館長研修会
	18	第55回金沢市公民館大会・公民館フェア「楽集」

■理事会の開催(予定)

4月19日、6月上旬、7月中旬、9月下旬、10月中旬、11月下旬、1月中旬、3月中旬(但し、必要に応じて開催する。)

■専門委員会の開催

- ・(継続)第39回全国公民館研究集会・第54回東海北陸公民館大会
実行委員会(県公連設置)

■その他

- ・視聴覚広報委員会及び文化部協議会への活動支援
- ・金沢市各種団体事業への参画と支援